



日本代表で筑波大生アスリート大活躍！



【世界水泳】アーティスティックスイミング
姉弟デュエットで銀2、チームで銀&銅
佐藤 友花



【世界水泳】水球 過去最高の9位
眞板 悠貴



オリエンテーリング

世界ジュニア選手権
谷口 瑞樹 & 樋口 佳那



世界選手権3種目出場
小牧 弘季



男子ハンドボール
U21アジア優勝
大山 翔伍 & 大浦 和真

写真：(左下) JWOC/世界ジュニアオリエンテーリング選手権、(下中央) IOF/国際オリエンテーリング連盟

TOPICS

【世界水泳】榎本遼香 飛板飛込10位&混合シンクロ9位

【男子バレー】エバデガン・ラリー AVCカップ日本代表

【柔道】アジア選手権 佐々木健志・金&田中龍馬・銀

【男子バスケ】三谷桂司朗 3X3 U23日本代表で優勝!

【女子ハンド】U20日本代表5名! Jr世界選手権9位

【弓道】全日本インカレ 女子団体3位

【活動報告】ホームゲーム「TSUKUBA LIVE!」を開催

【インタビュー】学生アスリートの声 in筑波の部活



【男子バレーボール】東日本大学選手権 準優勝

アメリカンフットボール

春季オープン戦

●筑波大 7-48 ○駒澤大

オリエンテーリング

フットオリエンテーリング世界選手権大会

小牧 弘季 (M2)

男子ノックアウトスプリント 予選16着、
男子スプリント 予選26着、
スプリントリレー 出場

ジュニア世界オリエンテーリング選手権大会

谷口 瑞樹 (情科2)

男子スプリント104位、スプリントリレー 44位

樋口 佳那 (資源2)

女子スプリント124位、スプリントリレー 41位

オリエンテーリングW杯2022第2戦

永山 遼真 (体育4)

男子ロング103位、ミドル66位

弓道

第34回全国大学弓道選抜大会

男子団体 ※20射

1回戦 ○筑波大 15-13 ●札幌学院大

2回戦 ○筑波大 17-9 ●愛媛大

準決勝 ●筑波大 18-18 ●桜美林大

(同中競射7-8)

3位決定戦:○筑波大 15-13 ●近畿大

よって、第3位

女子団体 ※12射

1回戦 ●筑波大 8-9 ○山口大

第70回全日本学生弓道選手権大会

男子団体 ※20射

2回戦 ●筑波大 17-18 ○明治大

女子団体 ※12射

1回戦 ○筑波大 11-10 ●日本大

2回戦 ○筑波大 9-5 ●岡山商科大

準決勝 ○筑波大 9-7 ●四国大

準決勝 ●筑波大 7-10 ○大阪経済大

3位決定戦 ○筑波大 7-6 ●茨城大

よって、第3位

個人戦・決勝出場者

男子:小坂 麻嘉 (体育4)、後藤 大賀 (体育2)

女子:高田 美怜 (体育4)、小川 貴子 (体育2)、

齋木 美早紀 (体育2)

剣道

第70回全日本学生剣道選手権大会

大平 翔士 (体育4) 準優勝

重黒木 祐介 (体育4) 第3位

田城 徳光 (体育3) ベスト16

黒川 雄大 (体育4) 4回戦敗退

原田 光 (体育3) 4回戦敗退

阿部 壮己 (体育4) 3回戦敗退

第56回全日本女子学生剣道選手権大会

笠 日向子 (体育2) 第3位

齋藤 とも (体育2) ベスト8

硬式庭球

ITF車いすテニストーナー

船水 梓緒里 (体育4)

カムループス・レガシートーナメント

女子シングルス優勝、女子ダブルス優勝

バンクーバー国際トーナメント

女子シングルス 準優勝

男子サッカー

第96回関東大学サッカーリーグ戦(1部)

△筑波大 0-0 △法政大

○筑波大 2-1 ○東洋大

●筑波大 0-1 ●明治大

現在、5勝4分4敗、6位(12校中)

第11回関東大学サッカートーナメント大会

1回戦 ○筑波大 4-2 ●作新学院大

2回戦 ●筑波大 0-2 ○関東学院大

よって、総理大臣杯出場ならず

女子サッカー

第36回関東大学女子サッカーリーグ戦(1部)

○筑波大 2-1 ●大東文化大

△筑波大 1-1 △日本大

○筑波大 2-1 ●東京国際大

●筑波大 0-1 ○東洋大

現在、3勝1分7敗、9位(12校中)

第28回関東女子サッカーリーグ1部

●筑波大 0-7 ○SEISA OSAレリア湘南FC

●筑波大 0-4 ○東洋大

●筑波大 0-3 ○早稲田大

現在、1勝1分9敗、8位

柔道

全日本学生柔道優勝大会(男子71kg/女子31kg)

男子(体重無差別・7人制)

2回戦 ○筑波大 7-0 ●東京農業大

3回戦 ○筑波大 2-1 ●早稲田大

準々決勝 ●筑波大 0-2 ○天理大

最終結果: ベスト8

優秀選手:千野根 有我 (体育4)

女子(体重無差別・5人制)

2回戦 ○筑波大 2-0 ●仙台大

3回戦 ○筑波大 2-0 ●立命館大

準々決勝 ●筑波大 1-1 (代表) ○福岡大

最終結果: ベスト8

優秀選手: 平野 友萌 (体育2)



日野山 剛 (体育4)

グランプリ・ザグレブ国際大会

男子81kg級 佐々木 健志 (M2)

2回戦敗退

アジア柔道選手権大会

男子66kg級 田中 龍馬 (体育3) 準優勝

男子81kg級 佐々木 健志 (M2) 優勝

男女混合団体 佐々木 健志 (M2) 優勝

世界ジュニア柔道選手権大会

男子90kg級 戸高 淳之介 (体育2)

2回戦敗退

水泳(競泳)

第95回関東学生選手権水泳競技大会

<学校対抗総合>

男子2部 優勝、女子2部 優勝

<男子2部>

50m自由形

岩崎 世那 (体育3) 22'95 優勝

小島 健太郎 (体育4) 23'17 第2位

石川 大智 (体育4) 23'38 第3位

100m自由形

小島 健太郎 (体育4) 51'90 第4位

200m自由形

宮本 直輝 (体育1) 1'51'60 優勝

400m自由形

岩城 優太 (体育2) 3'59'60 第2位

宮本 直輝 (体育1) 4'02'41 第3位

1500m自由形

岩城 優太 (体育2) 16'03'15 第2位

100m背泳ぎ

三浦 玲央 (体育3) 55'39 優勝

古屋 璃空 (体育1) 57'56 第3位

中島 康隆 (体育4) 59'46 第8位

100m平泳ぎ

徳淵 凜 (体育3) 1'01'70 第2位

落合 兼優 (体育2) 1'02'65 第3位

久下 悠世 (体育3) 1'03'84 第7位

200m平泳ぎ

徳淵 凜 (体育3) 2'13'39 第2位

間島 亮太郎 (体育4) 2'13'46 第2位

落合 兼優 (体育2) 2'19'11 第5位

100mバタフライ

小林 拓 (体育4) 53'99 優勝

鎌上 将大 (体育2) 55'39 第4位

小池 翔 (体育2) 55'43 第5位

200mバタフライ

小林 拓 (体育4) 1'58'56 第2位

200m個人メドレー

三浦 恵太 (体育4) 2'04'37 第3位

400m個人メドレー

三浦 恵太 (体育4) 4'32'36 優勝

4×100mメドレーリレー

古屋-間島-小林-石川 3'42'36 優勝

4×100m フリーリレー

野副-岩崎-石川-小島 3'23'92 第2位

4×200m フリーリレー

宮本-三浦-石川-岩城 7'34'59 優勝

<女子2部>

50m自由形

込山 瞳 (体育4) 25'40 優勝

100m自由形

込山 瞳 (体育4) 57'17 第2位

賀部 寿音 (体育2) 57'73 第3位

200m自由形

今村 涼花 (体育4) 2'03'97 優勝

山下 遥叶 (体育2) 2'06'19 第2位

泉 ひなた (体育1) 2'07'66 第3位

400m自由形

中村 実夢 (体育1) 4'19'24 第2位

茂原 ひなた (体育4) 4'43'06 第4位

100m背泳ぎ

井田 珠実 (体育3) 1'04'21 第2位

片桐 真由 (体育1) 1'06'07 第3位

100m平泳ぎ

高橋 奈々 (体育2) 1'11'51 第2位

200m平泳ぎ

高橋 奈々 (体育2) 2'31'75 第2位

平林 優花 (体育3) 2'32'38 第3位

100mバタフライ

飯塚 千通 (体育4) 58'98 優勝

片桐 珠実 (体育3) 1'03'44 第2位

200mバタフライ

泉 遥叶 (体育3) 2'16'57 優勝

200m個人メドレー

三浦 理音 (体育3) 2'18'37 第2位

400m個人メドレー

三浦 理音 (体育3) 4'50'46 優勝

山下 ひなた (体育1) 4'52'73 第2位

4×100mメドレーリレー

山下-高橋-飯塚-中村 4'12'55 優勝

4×50m フリーリレー

込山-飯塚-中村-片桐 1'44'06 優勝

4×100mフリーリレー

今村-飯塚-中村-込山 3'50'37 優勝

第69回全国公立大学選手権水泳競技大会

<学校対抗>

男子 優勝、女子 優勝

<男子>

50m自由形

岩崎 世那 (体育3) 22'87 優勝

200m自由形

宮本 直輝 (体育1) 1'52'01 第2位

400m自由形

岩城 優太 (体育2) 3'58'16 第2位

宮本 直輝 (体育1) 4'01'30 第3位

100m平泳ぎ

間島 亮太郎 (体育4) 1'01'18 優勝

200m平泳ぎ

間島 亮太郎 (体育4) 2'12'11 優勝

100m背泳ぎ

三浦 玲央 (体育3) 55'54 優勝

古屋 璃空 (体育1) 56'61 第3位

200m背泳ぎ

三浦 玲央 (体育3) 2'02'73 優勝

100mバタフライ

小林 拓 (体育4) 53'90 優勝

小池 翔 (体育2) 54'74 第2位

200mバタフライ

小林 拓 (体育4) 1'59'65 優勝

400m個人メドレー

三浦 恵太 (体育4) 4'28'45 第2位

4×100mメドレーリレー

三浦-間島-小林-野副 3'39'44 優勝

4×100mフリーリレー

石川-宮本-小島-徳淵 3'23'89 優勝

4×200mフリーリレー

岩城-三浦-石川-宮本 7'33'24 第2位

<女子>

50m自由形

込山 瞳 (体育4) 25'74 優勝

土井 香凛 (体育3) 25'76 第3位

100m自由形

中村 実夢 (体育1) 56'80 優勝

賀部 寿音 (体育2) 57'71 第3位

200m自由形

中村 実夢 (体育1) 2'02'45 優勝

今村 涼花 (体育4) 2'03'72 第2位

100m平泳ぎ

高橋 奈々 (体育2) 1'10'92 優勝

平林 優花 (体育3)	1'12"31	第3位
200m平泳ぎ		
高橋 奈々 (体育2)	2'31"23	優勝
平林 優花 (体育3)	2'32"41	第2位
100m背泳ぎ		
井田 真由 (体育1)	1'03"49	優勝
片桐 珠実 (体育3)	1'04"22	第2位
200m平泳ぎ		
井田 真由 (体育1)	2'18"12	優勝
山下ひなた (体育1)	2'19"21	第2位
100mバタフライ		
飯塚 千遥 (体育4)	58"78	優勝
200mバタフライ		
泉 遥叶 (体育2)	2'15"88	第3位
200m個人メドレー		
三浦 理音 (体育3)	2'20"06	優勝
泉 遥叶 (体育2)	2'21"69	第3位
400m個人メドレー		
三浦 理音 (体育3)	4'49"60	優勝
山下ひなた (体育1)	4'51"45	第2位
4×100mメドレーリレー		
片桐・平林・飯塚・込山	4'12"39	優勝
4×50mフリーリレー		
賀部・土井・飯塚・込山	1'42"58	優勝
4×100mフリーリレー		
土井・賀部・中村・込山	3'48"64	優勝

水泳(水球)

第19回世界選手権大会水泳競技大会

眞板悠貴 (体育4)・棚村克行 (2012年度卒)
が日本代表出場
第9位 *過去最高順位

水泳(飛込)

第19回世界選手権大会水泳競技大会

榎本 遼希 (DI)
混合3mシンクロ9位、女子3m飛板10位
大久保 悠 (2018年度卒)
男子高飛込12位

第98回日本選手権水泳競技大会

榎本 遼希 (DI)
女子3mシンクロ2位、3m飛板飛込3位
北村 夢 (体育2)
女子1m飛板飛込7位、3m飛板飛込12位

水泳(アーティスティックスイミング)

第19回世界選手権大会水泳競技大会

佐藤 友花 (体育3)
混合デュエット:テクニカル **銀メダル**、
フリー **銀メダル**
チーム:テクニカル **銀メダル**、フリー **銅メダル**

漕 艇

第70回東日本選手権競漕大会

男子シングルスカル
浅野 優次朗 (M2) 8'04"33 第6位
女子舵手無しクドルブル
栗川 穂乃花 (資源2) 豊田 莉子 (障害1)
堤 菜月 (資源1) 永井 沙妃 (障害2)
8'26"89 第2位

女子ソフトボール

第37回東日本大学女子ソフトボール選手権

2回戦 ○筑波大0-18 ○東京国際大

卓 球

第91回全日本大学総合卓球選手権・団体の部

男子団体・決勝トーナメント
1回戦 ○筑波大3-0 ●日本体育大
2回戦 ○筑波大3-0 ●北陸大
準々決勝 ○筑波大1-3 ○中央大
最終結果:第6位
女子団体・決勝トーナメント
1回戦 ○筑波大3-2 ●龍谷大
2回戦 ○筑波大1-3 ○神戸商科大学院大
最終結果:ベスト16

ダンス

第34回全日本高校・大学ダンスフェスティバル

筑波大 作品名「喧嘩の関係」 予選通過
(決選は欠場)

トライアスロン

東日本学生トライアスロン選手権 兼 関東・東北・北海道学生選手権那須塩原大会

種目:スラム0.75km-バイク24km-ラン5km

男子関東選手権
村瀬 歩貴 (M2) 1:14"37" 第29位
篠原 奎梧 (国際3) 1:15"43" 第48位
小林 颯人 (物理2) 1:15"52" 第51位
関東男子団体戦 (各校上位3名の合計記録)
筑波大 3:46"12" 第10位

女子関東選手権
奥田 さわ (M2) 1:22"25" 第7位
大熊 美結 (M1) 1:24"12" 第9位
佐藤 未来 (国際4) 1:25"16" 第13位
佐藤 佳乃 (社工3) 1:26"07" 第19位
五十嵐 咲季 (生物3) 1:28"42" 第28位
関東女子団体戦 (各校上位3名の合計記録)
筑波大 4:11"53" 第3位
*上記8名がインカレ出場権獲得

軟式庭球

東日本大学対抗ソフトテニス競技大会

男子 1回戦 ○筑波大1-3 ○東北大
女子 1回戦 ○筑波大0-3 ○國學院大B

男子バスケットボール

全日本大学新人戦(フレア会)

グループステージ
○筑波大 113-64 ●東北大
○筑波大 103-65 ●東海大札幌
●筑波大 68-73 ○京中大
よって、決勝トーナメント進出ならず
第98回天皇杯全日本選手権茨城県予選会
準決勝 ○筑波大 103-77 ●日立立見みか
決勝 ○筑波大 82-78 ●日立立見みか
よって、優勝

*天皇杯1次ラウンド進出 (9/17~18)
FIBA 3x3ネーションズリーグ2022アジア
三谷桂司朗 (体育3) U23日本代表出場 優勝
*ネーションズリーグファイナル進出
(9/14-16@ルーマニア)



三谷桂司朗 (大学の試合にて)

女子バスケットボール

第89回皇后杯全日本選手権茨城県予選会

1回戦 ○筑波大 105-52 ●下妻第一高
決勝 ○筑波大 105-50 ●東海クラブ
よって、優勝
*皇后杯1次ラウンド進出 (9/17~18)

バドミントン

関東学生バドミントン選手権大会

<Aブロック>
男子単 永瀬 雄大 (体育2) ベスト32
女子単 中原 鈴 (体育1) 第3位
溝口 なつめ (体育4) ベスト8
菜葉 菜々美 (体育3) ベスト8
男子複 藤澤 佳史 (体育3) .
永瀬 雄大 (体育2) ベスト16
中村 舜 (体育2) .
野口 翔平 (体育1) ベスト32
女子複 中原 鈴 (体育1) .
広瀬 未来 (体育1) ベスト16
<Bブロック>
男子単 密林 祐太 (体育4) ベスト32
女子単 新居 花梨 (体育4) ベスト32

第10回全日本学生ミックスダブルス選手権
中谷 菜々美 (体育3)・山下 蒼羽 (日本体育大) 第5位
村中 舜 (体育2)・大石 悠生 (体育4) ベスト16
藤澤 佳史 (体育3)・中原 鈴 (体育1) ベスト32
野口 翔平 (体育1)・神山 和奏 (体育1) 2回戦敗退
永瀬 雄大 (体育2)・栗原 あかり (体育3) 1回戦敗退

男子バレーボール

第41回東日本バレーボール大学選手権

2回戦 ○筑波大3-1 ●仙台大
3回戦 ○筑波大3-0 ●東京学芸大
準々決勝 ○筑波大3-2 ●日本体育大
準決勝 ○筑波大3-1 ●早稲田大
決勝 ○筑波大0-3 ○東海大
最終結果: 準優勝

敢闘選手賞:垂水 優芽 (体育4)

2022AVCカップ男子

エバデン・ラリー (体育4)・樋口 裕希 (2018年度卒)・小澤 宙輝 (2019年度卒) が日本代表出場 準優勝*大会歴代最高順位



エバデン・ラリー

女子バレーボール

第41回東日本バレーボール大学選手権

2回戦 ○筑波大3-0 ●早稲田大
3回戦 ○筑波大3-0 ●敬愛大
準々決勝 ○筑波大3-2 ●日本大
準決勝 ○筑波大1-3 ○東京女子体育大
最終結果: 第3位

スパイク賞:石原 果林 (体育3)

第21回アジアU20女子選手権大会

本田 凜 (体育1) がU20日本代表出場 優勝

男子ハンドボール

第17回男子ジュニアアジア選手権

大浦 和真 (体育2)・大山 翔伍 (体育2) がU21日本代表出場 優勝

女子ハンドボール

第23回女子ジュニア世界選手権

藤原ひなた (体育2)・升澤 結実 (体育2)・伊藤 結衣 (体育2)・水谷 朱里 (体育1)・外口 若奈 (体育1) がU20日本代表出場 第9位



左から:伊藤、水谷、藤原、外口、升澤

陸上競技

第19回U20世界陸上競技選手権大会

男子走幅跳
渡邊 希 (体育1) 予選7m32・A組9位

第62回実業団・学生対抗陸上競技大会

男子
走高跳 藤井 稜真 (体育4) 2m10 第5位
女子
100m 三浦 由奈 (体育3) 11"64 第2位
棒高跳 塩崎 泉 (体育4) 3m80 第6位
走幅跳 高良 彩花 (体育4) 6m28 優勝
*MIP賞

※該当期間の試合結果多数のため、抜粋して掲載しています。全結果は以下よりご覧ください。

最新の
試合結果



筑波スポーツ

Open Campus2022

#筑波には未来がある

学生アスリートの声 in 筑波の部活

8月に開催された大学説明会の一環として、特設WEBページ「筑波スポーツOpen Campus2022」で部活動紹介を実施中です。そこで掲載している総勢60名超の部員インタビューの中から一部を抜粋してご紹介します。秋シーズンに突入り、それぞれの目標に向けて奮起する運動部を応援よろしくお願いします！

Q. 私が目指す「●●（競技）」

●男子ハンドボール部・荒嶋 弘毅（社会4年）

今年は「学生スポーツ界を盛り上げられるチーム」というチームのビジョンを掲げています。昨年までは「学生ハンドボール界を盛り上げられるチーム」でしたが、さらに上を目指して活動しようということで新たに設定しました。インカレで優勝し、チームが上を目指して成長していく様子をSNSなどを通して発信し、多くの人に見てもらおうことを目指しています。

●ダンス部・阪本 佳奈（体育3年）

部の方針として「一人でもダンス部という場所でも、ダンスと向き合って互いに認め合い、助け合い、向上していく」を掲げました。色々な個性を持った部員が集まる所が良いところなので、一人一人が同じ学年、先輩後輩を見て高め合っていけるチームになればいいなと思っています。



●女子ラクロス部・伊藤 香葉子（生物4年）

今年は「挑む」というスローガンを掲げています。女子ラクロス部だけでなく、これまでの自分に挑む、強い相手にも果敢に挑戦でいこう、新しいことにもチャレンジしていこうという意味が込められています。今のチームは堅実にいくよりも、色々なことへの挑戦と失敗を繰り返し、経験を積み重ねることを目指しています。

Q. 今のチームで学んだことは？

●卓球部・佐藤 祐人（体育3年/主将）

筑波大学に来て、多様性を理解できたことは学びだと感じています。今までは卓球を頑張っている人、スポーツを頑張っている人としか関わってこない人生でした。ですが、筑波大学には勉強や研究を頑張っている人もいれば、文武両道に勉強もスポーツも打ち込んでいる人もいます。その集団の中で、お互いの長所を認め合って切磋琢磨し卓球をできている今のチームが好きです。

●男子ラクロス部・種村 魁（体育4年/主将）

ラクロスは9割が大学から始めるスポーツです。色々なスポーツをしていた学生が集まり、これまで部活をやって来なかった人もいますし、バックグラウンドが違うことに最初はとも驚きました。その中で主将をしていて、これまで当たり前だと思っていたことが実はそうではない、というギャップを感じたのが大きな気づきでした。なので、シーズン前に全員でミーティングを行い、なるべく意識の差を埋めてからチームをスタートさせました。様々なバックグラウンドの部員たちを1つにまとめることは大変で、試行錯誤を積み重ねていったことが自分の中での学びだったと思います。



●軟式庭球部・小林 桃子（比文3年/主将）

部活経験を通して学んだことは、各学年で学ぶことがあり、それは順番に巡ってきているということです。下級生として先輩に頼りきってきた分、主将となった今は後輩のケアを大事にしたり、心がすり減る覚悟を持ってチームを鼓舞することが役割だと思っています。それに後輩も応えようとしてくれるとき、部に良いエネルギーが循環していると感じます。



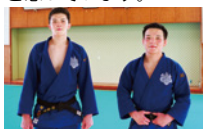
Q. これからの目標（直近の目標、人生の目標）

●体操部・森本 朝子（障害4年）

チームの目標は、来年度世界体操祭が控えているので、大会からできる体操、筑波大学ならではの体操を世界に発信していきたいなと思います。将来は特別支援学校の教員を目指しています。一般体操の領域で学んだことは障害のある子たちにとってもすごく意味のあることで、活かせることもたくさんあると思います。

●柔道部・西願寺 哲平（体育4年/主将）

チームとしては、全日本優勝大会と体重別団体の優勝です。6月の優勝大会は男女共にベスト8という悔しい結果に終わったので、体重別団体（10月）では必ず優勝するという気持ちを持って全員で日本一ヘリベンジしたいと思っています。そして、チーム内でのコミュニケーションをもう少し増やして、練習だけではなく普段から声を掛け、競り合った時には柔道だけではなくいい面も出てくるので、先輩後輩関係なく親密にしていきたいと思っています。



●フィールドホッケー部・河合 瞭（社会3年/主将）

チームは2部昇格を目標にしています（現在3部）。今までは勝つことができなかったのですが、春リーグでは3戦中2勝することができました。秋リーグでは全ての試合で勝利して2部昇格を目指したいと考えています。個人では、主将として部員が不自由なく楽しく部活動ができるように環境を整備しつつ、そのノウハウを後輩たちに伝えていきたいと思っています。将来は主将の経験を生かして、緑の下力持ちのような仕事に就きたいと考えています。

●男子バスケットボール部・中田 高基（体育4年/主将）

チームとしては、リーグ優勝、インカレ優勝を目標にしています。個人的には、チームメイトそれぞれの良いところ、個性を引き出せるように、チームの潤滑油になり、勝負どころでは試合に勝たせられるようなプレイヤーになりたいです。将来的には、Bリーグでプレイし、その後はバスケットに関わる企業やバスケットが身近なものになって欲しいので、そのための取り組みをしたいと思っています。

総勢60名超の学生の声を掲載！

つづきはWEBで



300人以上の筑波大関係者が熱狂！ 筑波大学ホームゲーム「TSUKUBA LIVE!」を開催！

2022年8月7日(日)、筑波大学にて筑波大学ホームゲーム『TSUKUBA LIVE! - Summer Tuuune!- 』（主催：筑波大学アスレチックデパートメント）を開催いたしました。

TSUKUBA LIVE! は、昨年度から始動した筑波大学アスレチックデパートメントのプロジェクトにより開催している、ホームゲームです。スポーツ競技や専門学群の枠を越えて「筑波大生」が企画・運営のメンバーとして集結。「学校におけるホームゲーム構想」の実現に向け、コンセプトの設計から実務まで、学生たちの手によって進められています。

テーマは『Summer Tuuune!』

この夏のTSUKUBA LIVE!では、男子バスケットボールと水球の2競技を採用。2試合を同日にて開催しました。

【試合結果】

◆バスケットボール

筑波大 69 (24 19 07 19)
日体大 79 (16 17 22 24)

◆水球

筑波大 12 (3 4 4 1)
日体大 15 (5 2 3 5)

新型コロナウイルス感染拡大防止の面から、今回は筑波大生と教職員のみの来場という制限の中でしたが、延べ約300人の観客が来場し、ホームゲームを楽しみました。

また、ホームゲームでは、筑波大学内で活動する部活動やサークル、計8団体がパフォーマーとして参加。スポーツだけではなく、筑波大学の魅力をパフォーマンスという形で表現し、1日に彩を添えました。



筑波大学ADが大学スポーツに新たな文化を作る！

今回開催した「TSUKUBA LIVE! -Summer Tuuune!-」は、筑波大学内の施設にて開催。スポーツとパフォーマンスにより「筑波大学の”ホームゲーム”を実現しました。このホームゲームは大学スポーツを中心に、学内、地域に繋がりを生み出す、そんな未来の実現に向けた大きな1歩となったと確信しています。

大反響を得た筑波大学ホームゲーム「TSUKUBA LIVE!」はすでに、2022秋の開催に向けた企画をスタートしています。更なる大学スポーツの価値最大化を目指し、筑波大学アスレチックデパートメントは引き続き挑戦を続けて参ります。

【10/29開幕☆世界体操】 深沢こころ 初代表で世界へ舞う！

10月29日～11月6日にイギリス・リバプールで開催される「第51回世界体操競技選手権大会」へ、体操競技部の深沢こころさん（体育3）が出場します。

深沢選手は、今年6月に開催された全日本体操種目別選手権にて、段違い平行棒で初優勝し、見事、世界体操の女子日本代表に選ばれました。女子日本代表は5人で、NHK杯（5月）の上位3人が代表に内定し、残り2枠が全日本種目別選手権の結果を踏まえて選出されました。初の日本代表入りとなった深沢選手にお話を伺いました。

＊世界体操……第51回大会は団体、個人総合、種目別で競われる。団体の上位3か国が2024年パリ五輪の団体出場権を獲得。日本女子は、団体のメダルを獲得すると、1966年（第16回大会）の銅メダル以来、56年ぶりの快挙となる。



写真：松尾/アフロスポーツ

●深沢 こころさん（体育専門学群3年）

ー日本代表に選出されたお気持ちは？

世界選手権日本代表に選出され、とても嬉しく思っています。日々自分の演技を振り返り、

課題に向けた練習を大切にしてきたことが、今回の結果に結びついたので感じています。同時に、日本代表になったのは、親や先生方が支えてくださったお陰であり、支え合えるチームメイトの存在があったからだと感謝しています。



写真：松尾/アフロスポーツ

ー「私の演技のここを見て！」というポイントを教えてください

私は「段違い平行棒」が得意です。長身を生かした伸びのある演技が私の武器で、演技冒頭は離れ技が続くなど、難易度が高い演技構成になっています。ダイナミックな演技にご注目ください。

ー世界体操へ向けた抱負

世界選手権では、自分のもてる力を十分に出し切り、見ている人を魅了できるような演技ができればと思っています。また、私は女子代表の最年長であるので、チームの良い雰囲気づくりに努め、チームジャパン丸となって最高の演技ができるよう頑張ります。応援、どうぞよろしくお願いします。

【箱根駅伝復活プロジェクト】箱根予選会へ挑む！3年ぶりの出場目指して

●第99回箱根駅伝予選会 10月15日（土）9：35スタート@東京都立川市

陸上競技部 男子長距離チームが、3年ぶりの予選突破を目指して精一杯走ります。この夏も全員強化にこだわり鍛錬を重ねてきました。応援のほどよろしくお願いいたします。

●国立大学 本気の挑戦！筑波大学駅伝サポーター募集中

2012年から始動した当プロジェクトでは、TSA特定基金やクラウドファンディングを始め、多くのご支援と応援を賜りながらチームは成長を遂げてきました。この度、ご支援者様と深く関わり長く応援いただく継続寄附「学生と共に歩んでいただくサポーター」の募集を開始いたしました。詳細は右QRコードよりご覧ください。



夏季合宿にて

筑波大学スポーツサポーターの皆様(2022年6月にご寄附を頂いた皆様)

TSAでは、特定基金によるご寄附をお願いしております。支援先は、TSA全体、各運動部（44団体）、TSAトレーナーチーム、箱根駅伝復活プロジェクトから選択いただけます。

ご寄附いただいた皆様には、感謝の意を込めてご芳名を掲載しております。（ご希望者のみ）

川上宏伸様 平野克也様 山口松太郎様 高野一郎様 野呂裕樹様 中川知秋様 宇佐美慧様
ヘリヤー万紀子様 阿江通良様 渡邊徹様 形本静夫様 木村成伴様 水田裕様 山田智広様
脇田建介様 村上ゆかり様 立道和久様 酒井あゆみ様 安ヶ平浩様 嶋田高司様（順不同）

※筑波大学特定基金につきましてはTSAウェブサイト <https://tsa.tsukuba.ac.jp/supporter/> をご覧ください。

